



第3次中野区民地域福祉活動計画

「いきいきプラン」

～社会的な孤立を生まない

人と人がつながる地域づくりを目指す～



第1期実施計画（平成26～30年度）



社会福祉法人 中野区社会福祉協議会

2014年3月

目次

会長あいさつ

策定委員長あいさつ

第1章 計画策定の目的と役割 … 1

第2章 第2次活動計画の内容と主な成果 … 4

第3章 中野区の地域福祉の課題 … 8

第4章 第3次活動計画の基本理念と重点目標 … 14

第5章 第1期実施計画（5か年の取り組み） … 16

第6章 計画推進のために … 26

資料編

1 活動計画の策定経過 … 27

2 策定委員会委員名簿 … 28

3 第3次中野区民地域福祉活動計画
アンケート調査結果（抜粋） … 29

4 用語説明 … 35

社会的孤立を生まない中野のまちへ

平成 22 年の国勢調査では、単身世帯数は全世帯数の 6 割を超えており、今後も 20 歳代、30 歳代及び高年齢者層を中心に増加することが予測されています。また、核家族化が進行する中で、家族や親族など「血縁」関係が薄れ、生活で課題を抱える方が地域で孤立することが容易に予想され、すでに福祉の現場では、公的な仕組みの限界や、「地縁」、「知縁」の支えがないと生活の維持が難しい世帯の方も増えてきている現状があります。

この「第 3 次中野区民地域福祉活動計画～いきいきプラン～」は、今後 10 年を見据え、「区民」、「事業者」、「社協」等が進める「行動計画」です。テーマを「社会的な孤立を生まない、人と人がつながる地域づくりを目指す」とし、区民の皆さんと「互助」「共助」の輪を広げるとともに、中野区をはじめとする関係機関とネットワークを形成し、「社会的孤立」を防ぐ仕組みづくりについても積極的に取り組んでいきたいと考えています。

この計画の策定にあたっては、区民、関係機関、学識経験者の皆様による「第 3 次中野区民地域福祉活動計画策定委員会」を編成し、1 年半、計 9 回に及ぶご検討をいただきました。また、社協会員、ほほえみサービス会員、登録ボランティア等のアンケート調査や、地域福祉推進フォーラムにおいて多くの方からも貴重なご意見をいただき、策定に至ることができました。関係の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

中野区社会福祉協議会は、戦後の混乱期の昭和 28 年に設立され、昨年創立 60 周年を迎えました。人間の年齢でいうと「還暦」を迎えたことになりますが、私たちの生きる現代では 60 歳というとまさに「熟年」でもあります。この 61 年目にこの計画をスタートできることは慶びでもあり、地域福祉推進の中核としての役割を自覚化し、役職員が一丸となり計画を進めていく所存です。

また、この計画は本会だけで進められるものではありません。一人でも多くの皆様がこの計画に参画し、中野のまちを「誰もがいきいきと暮らせるまち」となるようともに取り組まれるよう心より願っております。

2014 年 3 月

社会福祉法人中野区社会福祉協議会
会長 吉成 武男

第3次「いきいきプラン」策定にあたって

近年の国民の暮らしをめぐる状況は、大きく変化しています。リーマンショックや2011年3月の東日本大震災、また中野区でも進んでいる少子・高齢化は、今後の地域のあり方や区民の暮らしに大きな影響を与えると考えられます。特に中野区は、単身世帯が占める比率が6割近くと、全国、また東京都内でもその比率は高く、このような単身者の社会的孤立を防ぐ取り組みが重要になると考えます。

第3次中野区民地域福祉活動計画「いきいきプラン」は、このような今後の中野区における地域福祉をめぐる環境の変化や課題に対して、区民や行政、関係機関・団体が協働して取り組むための計画です。社会福祉協議会は、その推進役、また橋渡し役としてますます大きな役割を果たしてくれることを期待しております。

計画では重点目標として、「多様な交流の場づくりを進める」、「幅広い層が担い手になる」、「困った時にたすけあえる地域をつくる」、「解決しにくい課題にみんなで行き届く」を掲げ、これらを実現するためのこの5年間の具体的な取り組みについて、区民の取り組み、社会福祉協議会の取り組みの内容を明らかにしています。

一方、中野区は2011年3月に制定された「中野区地域支えあい活動推進条例」によって、区内の町会・自治会による支えあい活動が活性化してきており、区民の地域福祉活動に関する理解と関心が一層高まっているこの時こそ、中野区における地域福祉をより発展させる好機到来と言えるでしょう。

この約1年半の間、社会福祉協議会会員をはじめとするアンケート調査の実施、区民の直接の声をうかがう2回の地域福祉推進フォーラムの開催、また策定委員の皆様からも活発な意見と協議を行っていただき、この計画の内容に反映させてきました。

中野区の「みんなで作るみんなの福祉」のスタートが、新たな時代に向けてきられました。本計画が、中野区の区民の皆様が安心して暮らせる中野のまちづくりを実現する手だてとして、大きく寄与することを願ってやみません。

2014年3月

第3次中野区民地域福祉活動計画策定委員会委員長

宮城 孝（法政大学現代福祉学部 教授）